

マカオ大学での夏休みも2か月目に入りました。今回はマカオ大学・マカオ留学の良いところ・悪いところなどについて報告したいと思います。

まず、留学先を選ぶにあたっておそらくほとんどの人が非常に迷うと思います。1年前の私も留学申請書類提出の締め切り前日まですごく迷いました。私の場合は、留学開始を半年遅らせて3年秋から1年間アメリカへ行くか、このまま留学先リストにある所へ3年春から留学するかということで大変悩みました。悩んだ時に考えたのは、留学を通して自分は何をしたいのか・何を身につけて、何が目標なのかを明確化することでした。どの提携先・国も魅力的なので、自分のしたいことを明確化することで自分に合った留学先を選ぶことができると思います。アメリカはやはりネイティブな英語を学ぶ環境としてはベストだと思ったし、ヨーロッパは美しい街並み・周辺の国への旅行しやすさなど惹かれたし、アジアはやはり日本からアクセスしやすく、食事や環境も似ているという点と安全面で惹かれました。結論として考えた点は、その国の環境面（食事・文化・気候など）、安全面、その大学の勉強しやすさ（開講科目、学習施設、学内の設備など）、自分のやりたいこととマッチしているかでした。



【マカオ大学 Good Point】

- 大学内のシステムが整っている点

これは5月の報告書でも紹介しましたが、福大での学生ポータルのようなサイト（Moodle や Student Information Web）がとても使いやすいです。日本よりもネット社会なのですべてネットで登録などを行います。学内公用語が英語のため、メールなども現地語だけではなく英語で配信してくれます。そして、これはとても大事なことだと思うのですが、学内の wi-fi がとても強く、オリエンテーション機関に申請するのですぐ使えるということです。

- 学内が綺麗・広い・設備整っている

学内にはスーパーマーケット、レストラン、スタバのようなカフェ、7-Eleven、サークルK、日本食屋さん、病院、郵便局、銀行、パン屋、ATM、印刷機などがあり、学外へ出なくても十分生活できます。そして24時間空いている建物や、それぞれの学部にはおしゃれなコミュニティスペースがあるため、非常に勉強できる環境がそろっています。どの建物にもお菓子やカップ麺を販売している軽食の自販機やドリンクの自販機があるため、テスト前の勉強もはかどります。

- 寮の設備が整っている

部屋は全て二人部屋で、クローゼット・机・ベッド・棚・冷蔵庫・エアコンがあり、シャワー・洗面所・トイレは隣の部屋と共同です。部屋のドアはオーとロックでルームキーをかざして入ります。シャワーは日本と変わらない水圧で熱いお湯もきちんと出て、シャワーヘッドも固定ではないため快適です。エアコンもきちんと効くし、寮では日本とほぼ変わらない生活ができると思います。寮には、共用の洗濯機・乾燥機・食堂・ジム・全てのフロアにパントリーがあり調理器具もそろっています（IH・炊飯器・電子レンジ・冷蔵庫・フライパン・鍋・皿など）。ジムが使い放題なのが私的にはうれしいです。寮では1週間に15回のミールプランがついています。他の寮にも食べに行けます。寮ごとに部活やイベントがあり、アクティビティーが充実していると思います。また、寮は学生証をかざして入り、入り口にはセキュリティーが24時間滞在していて、その寮ではない人が入るときにはゲストリストに名前などを書かなければいけません。そのためセキュリティー面は文句なしだと言えます。

- 図書館がすごい

入ってすぐ1階には新しい Mac のパソコンがたくさんあり、いろんなソファや勉強スペースがあります。グループでのミーティングや個人での勉強など、とりあえず、どんな勉強スタイルにも適した自分だけのお気に入りスペースが見つかると思います。そして建物は中もおしゃれな造りで、普段は12時閉館ですが、テスト期間は3時まで空いていたり勉強がはかどること間違いなしです。

- 授業が全て英語開講

履修でき、単位交換できる授業が非常にたくさんあります。そのため、ありすぎて履修登録が大変です。先生は全員英語が喋れるので心配不要です。日本人の先生も数人いらっしゃいます。日本語学科もあり、他の学部の人たちも、マカオ大学の学生たちはとても優しく親日的なので、友達がたくさんできます。

- アジア

近隣のアジア諸国へ簡単にアクセスできます。香港へは片道3000円ほどのフェリーで1時間で着き、中国本土へは陸でマカオと広東省がつながっているため、ボーダーゲートを抜けて本当にすぐいくことができます。また学外には日本食屋さん（居酒屋、すし屋、牛丼屋など）がたくさんあり、日本製品も簡単に手に入ります。ドラッグストアやスーパーでは日本の商品がたくさん売られています。日本から留学出発時にたくさん持っていかなくてもほぼ現地調達できます。日本食以外も中華（飲茶）、ポルトガル料理、タイ料理、ハンバーガー、麺類、などなんでもあります。（小籠包がとても美味しいです）

- 留学生や International Students が多い

中国、韓国、台湾、マレーシア、フィリピン、アメリカ、カナダ、フィンランド、ノルウェー、ルーマニア、フランス、ポルトガル、ブラジル、インド、スリランカ、など各国の留学生がマカオ大学で学んでいて、授業だけでなく寮や留学生のイベントなどでもたくさん交流できます。

- とにかく安全

マカオでの主な交通機関はバスです。運賃も日本より格段に安く、マカオ自体も小さいためすぐに買い物や食べにいきます。学内にも3つほどバス停があり、夜中に運行しているバスもあるので24時間移動可能です。マカオにはカジノが多くありマフィアがたくさんいるのでは？と思う方も多いと思うのですが、それは昔の話で、今はほとんどいないそうです。カジノは24時間営業で、入場口・カジノ内にはセキュリティーの人がいるため、安全に運営されています。マカオが安全と言える理由は24時間営業のカジノがあることだと感じるし、夜のマカオはとても明るいので逆に犯罪が起きにくいのかなと思います。

【マカオ大学 Bad Point】

- 言語面

公用語が広東語とポルトガル語ですが、ほぼ広東語が使われるので道ですれ違う人や現地人同士の会話、学外でのお店の人とのやり取りなど、全然何を話しているかわからないということはありますが、マカオ大学の学生はみな英語もうまいのでコミュニケーションに苦労することはあまりないと思います。ただ、広東語は中国語（普通語）と全く違うのでその習得は難しいなと感じます。学外のお店など行く際に広東語が喋れなくてもジェスチャーで伝えることはできるし、現地の学生と一緒にいけば何も問題ありません。私は時間がなくあまり勉強できずにいってしまったのですが、とても後悔したので、渡航前にはほんの少しだけでも絶対勉強していったほうがいいと思います。

また、学生や先生は中国訛りの英語をしゃべる人が多い気がします。これは英語がネイティブではない国に留学するから仕方ないのかもしれませんが、英語ネイティブの友達や、英語のうまい現地の友達を作ることと解決できると思います。

- 気候面

湿度が本当に高く、3月からとても暑いです。虫がでるのはアジアはどこでも共通だと思いますが、あり

えないサイズの虫に遭遇したときはとても怖いです。しかし建物の中は冷房が効いているし、部屋の中に入れば湿度・暑さは対処できます。蚊よけ、ムヒは必須です。

● その他

日本人留学生やインターン生もある程度いるため（約20人前後）、日本人同士でかたまってしまう可能性もあるが、いないよりは頼れるし、ともに助け合って生活できて、なかなか関わることのない様々な都道府県の学生とのつながりができる。（AIU、慶応、神田外語、創価、京都外語、北九州市立、志学館、熊本、沖縄国際などからの留学生がいました。）

学生数が多いため、希望の授業が履修できないこともあります。セクションがたくさんあるため履修追加取り消し期間にきちんと登録すればほぼ取れると思います。

マカオはとても小さいため、他の国と比べたらできることも限られてくるため半年ほどで飽きるかもしれませんが、海・山・カジノ・ショッピング、と何でもできるし、近隣諸国へもすぐ行けるのでいい土地なのかなと思います。

7月の報告は以上になります。

